

活動の輪の拡がり

真光寺川を清流にする会 世話人 山口拓郎

この季節、真光寺川の流れが澄み切ってきた。11月の例会の際、計測していた岩上さんが驚きの声を挙げた。透視度が軽く100cmをオーバーしていたのだ。下堰親水を悠々と遊泳する鯉は鱗の一つ一つまでくっきり見えるようだ。最近、養殖された鯉が大量に死んだという異変が報ぜられた。テレビに映し出された鯉の死骸は無惨を通り越して不気味だ。「人よ驕るなかれ！」と鯉の骸が叫んでいるように思えてならない。

夏から秋へ季節は移った。ふり返ってみると「真光寺川まつり」が終わり「町田ごみフェスタ2003」「TRネット・クリーン作戦」「豊かなふるさとづくり全国フォーラムのシンポジウム」と矢継ぎ早に行事に追われた日々であったように思える。「活動の輪の拡がり」といえようか。その跡を追ってみたい。

8月

「真光寺川まつり」が終わり「町田ごみフェスタ2003」へ向けて始動した。今年で12回となる。市民が18千人も集う一大イベントである。エコネットもブースを出しごみ減量と呼びかけている。今年も実行委員として4名参画した。兼がね子ども達に是非参画してほしいという希望を抱いていた。鶴三小の横山先生にお伺いしたところ肯定的なご返事だった。

8月10日(日)清流会8月度例会
台風10号が日本列島を縦断、前日かなり強い雨が降る。増水が懸念された。夜が明けるのを待ちかねて川へ。幸い水位は上がっていない。ボランティアスクールの少年少女、それにボランティアセンターの伊藤さん親娘も参加するいつものコースを手分けして清掃作業。フェン現象か、灼けるような暑さが容赦ない。道を散歩していた奥さんがご苦労様とアイスクリームを差し入れして下さる。

反省会で「ごみフェスタ」のことを相談。

8月12日(火)鶴三小へ伺う
松本教頭へ「まつり」のお礼と「フェスタ」「シンポジウム」へご協力をお願いをする校長先生に相談して頂けるとのご返事だった

8月13日(水)鶴三小横山先生来宅
「フェスタ」の子ども達の参加について打ち合せ

8月15日(金)鶴三小へ伺う
荒井校長先生「シンポジウム」へのパネリストとしてご出席をご快諾頂く。感謝、感謝

8月24日(日)エコネット推進連絡会議
「フェスタ」「シンポジウム」の状況を報告し協力を要請

8月26日(火)ごみフェスタ実行委員会
鶴三小子ども達の参加を報告し駐車場等の配慮をお願いする

9月

気温の低かった8月に引き替え灼熱の夏日が続く。「フェスタ」「TRネット」「フォーラム」の準備に気の安まらない日々が続く

9月5日(金)一金会
「フェスタ」「TRネット」「フォーラム」の対応について計画書をもとに打ち合わせる

9月14日(日)清流会9月例会
残暑が容赦ない。朝から太陽がキラキラ輝いている。気温31度、水温も25度

4班に分かれていつものコースを清掃作業。水の中の方が楽だ。高橋さんがモデルガン拾得交番へ届ける

反省会で諸行事について具体的に打ち合わせる
大川先生、平野先生も出席下さる



9月15日(月)TRネット実行委員会
19時から町田フォーラムにて。事務局も準備が大変なのだろう昨年より開催が遅れている
深見事務局長より規則の説明、大きなごみは拾わないこと、怪けに注意。岸先生も資料を持って駆けつける。呉れぐれも無理せず川を楽しんで欲しいとのこと

9月17日(水)あしたの日本を創る全国大会
代々木のオリンピック青少年センターで開催されエコネット町田として運動功労者(団体)表彰を受けた。日頃の活動が評価されたことは名誉なことである。

9月18日(木)細菌調査水サンプル採集
松前さんが体調を回復されたので再開することになった。朝から夏の太陽が容赦なく照りつける。通路のごみを拾いながら採集。従来の3ヶ所「せせらぎの小径」を追加して頂く

9月19日(金)シンポジウム実行委員会
「あしたの日本を創る協会」はふるさと創成を推進している。全国に3千の生活学校があり長い実績がある。全国フォーラムが予定され5つのシンポジウムが開催される。エコネットとして第2分科会を引き受けるよう要請された
テーマ:東京近郊の小さな川・真光寺川で清流復活を目指して

パネリスト:鶴三小荒井校長、和光鶴小大川先生、下水道部清水課長、主婦中村さんと私
コーディネーター:大川エコネット副会長
11月12日開催に向けて準備に取りかかることになる

9月22日(月)ごみフェスタ実行委員会
最後詰めが行われる
鶴三小の6年生27名と先生2名参画につき協力を要請する

9月28日(日)エコネット推進連絡会議
「ごみフェスタ」のブースの展示、当日の役割分担につき打ち合わせ

10月

10月3日(金)一金会
ごみフェスタ実施につき、特に子供たちの会場までの輸送につき綿密な打ち合わせ

10月4日(土)ごみフェスタ、テント設営
エコネットとは別に子ども達のテントも用意

10月5日(日)ごみフェスタ開催
快晴、早朝に会場へ行き設営する。子ども達も無事到着する。子ども達は舞台上紙芝居を2回豆記者としてフェスタの取材、実行委員長へのインタビューと元気に役割を果たしてくれる
荒井校長、松本教頭も駆けつけて子ども達の活動を激励して下さる

ブースでは中村、山岡、淀さんのエコ・ゾーリ作りが評判よく昼食を取る時間も無いほど盛況
4時、フェスタは盛會裡に無事終了した

10月12日(日)TRネット・クリーン作戦
前日から激しい雨、朝ようやく止む。本部から川へは入らないように指令がくる

8時30分から下堰親水に横断幕を張る
9時30分開始、清水課長にオープニングの挨拶をして頂く。悪天候のため参加者は約20名
川の中の清掃作業は詰め川沿いに道の清掃作業をすることになる。開戸親水を経て鶴見川沿いに恩廻り公園まで往復約6kmをごみ袋を持ってごみを拾いながら歩く

午後は能ヶ谷こい会館において「シンポジウム」の打合せリハーサルを行う。清水課長も出席下さる。私共の手に負えないパワーポイントのソフト制作は大川先生が引き受けて下さるお忙しいのに感謝、感謝だ

10月16日(木)
午前:細菌調査の水サンプル採集
午後:鶴三小荒井校長先生へ「シンポジウム」骨子をお届けする

10月17日(金)シンポジウム実行委員会
オリンピック青少年センターにおいて会場と設備の下見。資料作成の要請がある

10月18日(土)ごみフェスタ講演会
リサイクルセンターの会場が満員の盛況。テーマは名古屋市内におけるごみ減量作戦。具体的に聴衆に深い感銘を与えた

10月26日(日)エコネット推進連絡会議
「シンポジウム」の準備進捗状況の報告と協力を要請する

それから2週間、11月12日「シンポジウム」開催へ向けて多忙な準備に明け暮れた。仲間の絆のありがたさが身にしみた日々であった

